

# 予算編成過程への県民参加について (結果)

平成15年6月25日

福 井 県

## 県民の皆さまへ

去る6月8日から15日まで、県のホームページで「福井元気宣言」の実現に密接に関連する31の事業について、予算要求の段階で皆さまにお示しし、ご意見、ご提案を伺いました。

8日間という短い期間でしたが、50件を超える有益なご意見、ご提案を頂き、心からお礼申し上げます。

これらのご意見等につきましては、知事査定の場において随時とり入れながら、6月補正予算案を編成いたしました。

このホームページでは、皆さまのご意見等が知事査定の中でどのようにとり入れられ、6月補正予算案に反映したか、その検討内容と結果をお示ししています。

今後とも県民に開かれた県政の実現のため、一層の情報公開と県民参加の推進に取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成15年6月25日 福井県知事 西川 一誠

元気な産業	要求額	予算計上額
1 経済対策の緊急発動		
産 1 新規高卒就職内定者支援セミナー事業	4,700	2,000
2 ものづくり・新産業創出		
産 2 元気企業創出産学官パートナーシップ推進事業	3,400	3,400
産 3 新規創業支援事業	2,700	2,700
産 4 「南青山291」利用促進事業	3,367	3,367
産 5 新商品創出デザイン活用普及事業	11,000	11,000
眼鏡産業中国マーケット開拓支援事業		
産 6 眼鏡産業中国市場開拓支援事業	7,341	7,341
産 7 女性企業家支援事業	2,000	2,000
総 1 県立大学ビジネススクール開設準備事業	1,500	1,500
3 福井の豊かさを支える農林水産業		
農 1 福井グリーンツーリズム推進センター開設事業	9,790	再検討
福井県産農林水産物トレーサビリティシステム確立推進事業		
農 2 トレーサビリティシステム確立推進事業	5,500	33,425
農 3 地場産学校給食推進事業	10,300	10,300
農 4 環境調和型農業ふくいモデル育成事業	6,650	6,650
福 1 福井型エコツーリズム推進事業	2,700	2,700
元気な社会		
4 女性の元気が福井の元気		
総 2 福井女性会議開催事業	1,500	1,500
福 2 まちなかキッズルーム設置促進事業	35,000	35,000
5 未来を託す人づくり		
教 1 教員指導力向上事業	1,700	1,700
学力向上特別対策事業		
教 2 学力向上実践研究推進事業	23,000	8,300
英会話力向上事業		
教 3 英語教員資質向上研修事業	2,300	5,000
教 4 「福井型コミュニティ・スクール」推進事業	1,800	1,800
教 5 県立高等学校学習環境整備促進事業	84,085	84,085
6 生き生きやさしい福井づくり		
福 3 元気長生きがん予防推進事業	1,685	1,500
元気な県土		
7 原子力は県民の立場に立って		
8 福井は列島のまん中 - より近くより便利に		
土 1 パークアンドライド渋滞対策モデル事業	141,000	141,000
元気な県政		
9 新しい福井県政府の樹立		
総 3 「座ぶとん」集会の開催	(既決予算で対応)	
県 1 NPO協働モデル事業	9,000	9,000
10 夢あるふるさとづくり		
フレンドリーバス試行事業		
県 2 フレンドリーバス推進事業	27,579	42,410
教 6 フレンドリーアート推進事業	3,000	3,000
総 4 太陽光発電設備設置推進事業	95,800	95,800
太陽光発電等住宅設備設置促進事業	90,000	90,000
土 2 環境配慮型住宅設備設置促進事業		
福 4 低公害車導入促進事業		9,700
歴史の香る建造物保存・活用事業		
土 3 歴史的建造物保存・活用事業		12,875
歩道除雪モデル事業		
土 4 雪みち歩行空間確保モデル事業	43,000	43,000

県民の皆さまのご意見等を知事査定で予算案にとり入れた事業

(単位：千円)

項 目	担当部局	ご意見等(要旨)	知事からのコメント	予算計上額
15,000人の雇用創出	産業 労働部	1 「就職してもすぐに辞めていく」という声があり、新規高卒については、求人確保よりも、就職後の早期退職等を予防するため職業訓練や心がまえに力を注いではどうか。	<p><b>新規高卒就職内定者 支援セミナー事業 新規高卒求人緊急確保事業</b></p> <p>ご意見を踏まえ、新規高卒就職者の離職率が高まっている現在、その質的向上を確実に図り、求人確保につなげることが重要と判断し、今回、職業人教育を行うための「<b>新規高卒就職内定者支援セミナー事業</b>」を予算計上することとしました。</p> <p>一方、「<b>新規高卒求人緊急確保事業</b>」については、さらに検討する余地があると判断し、予算計上をしないこととしましたが、より効果的な雇用創出の方策を、今後「<b>経済社会活性化戦略会議</b>」で検討し、年内実施を進めていきたいと考えており、9月補正予算以降に対応します。</p>	<p>2,000</p> <p>4,700</p>

県民の皆さまのご意見等を知事査定で予算案にとり入れた事業

(単位：千円)

項 目	担当部局	ご意見等(要旨)	知事からのコメント	予算計上額
グリーン・ツーリズム を推進	農林 水産部	1 官より民主体で推進し、責任ある事業団体を支援、助成して欲しい。	<b>福井グリーンツーリズム 推進センター開設事業</b>	9,790
		2 総合インフォメーションセンターとサブインフォメーションセンターを設置するほか ・ 民宿はグリーンツーリズム型に経営転換 ・ 公営宿泊所が食事メニューを指導 ・ 地域ごとに体験メニューのモデルをつくり独自性をアピール ・ 顧客リストづくり、経験者とアシスタントのリストアップ	<b>福井型エコツーリズム推進事業</b>  担当部からは、グリーンツーリズムを推進するセンターの設置とフォーラムの開催、体験施設等の運営に対するアドバイス事業が要求されました。 しかし、ご意見を受け、福井型のグリーンツーリズムとして何をめざし、その目的を達成するためにどのような支援組織が必要かについて、6月補正で予算化した「 <b>福井型エコツーリズム推進事業</b> 」などとの連携も踏まえ、さらに検討する必要があると考えたため、今回は予算化せず、9月補正予算以降に予算化することとしました。 今後、若手職員による「県庁内ベンチャー」で他県の成功事例などの調査も含め、早急にあり方を検討するよう指示しました。	2,700

県民の皆さまのご意見等を知事査定で予算案にとり入れた事業

(単位：千円)

項 目	担当部局	ご意見等(要旨)	知事からのコメント	予算計上額
生産者の顔が見える システムの確立	農林 水産部	1 自らの県の農林水産物が安心して食べられることは、基本中の基本であり、早急に十分な取組みを行って欲しい。	<p><b>福井県農林水産物 トレーサビリティ確立推進事業</b></p> <p>担当部からは、米や野菜、畜産物などの産物について所管課ごとに予算要求があったため、ご意見を受けて、知事査定の場で農林水産部全体で統一的で速やかな取組みを進めることを指示しました。その結果、トレーサビリティの確立と推進に関する事業は「<b>福井県農林水産物トレーサビリティ確立推進事業</b>」として一本化されました。</p> <p>これと併せて、福井県産農林水産物の安全性をPRし、県外市場で販路を拡大するため、「<b>顔の見える福井県産農林水産物販売促進事業</b>」(49,600千円)を立ち上げました。</p>	33,425 5,500

県民の皆さまのご意見等を知事査定で予算案にとり入れた事業

(単位：千円)

項 目	担当部局	ご意見等(要旨)	知事からのコメント	予算計上額
生産者の顔が見えるシステムの確立	農林水産部	1 農林水産物の安全に関する取組みを全国に先駆けて行い、その内容を全国に向けて積極的にアピールしてはどうか。	<p><b>顔が見える福井県産農林水産物販売促進事業</b></p> <p>県産農林水産物の販売促進についても担当部は、産物の所管課ごとに要求をしてきましたので、ご意見を踏まえ、福井県産品として統一的に安全性をPRし、販売促進ができるように事業をまとめるように指示しました。その結果、4つの事業が「<b>顔が見える福井県産農林水産物販売促進事業</b>」としてまとめ、統一の取れた取組みができるようになりました。</p> <p>また、県職員自らが県産物を理解し、販売促進の一線に立つべきとの考えから、県職員による市場調査とPRのための予算を措置しました。</p> <p>所要額の49,600千円はこれと類似した4つの事業をスクラップし捻出しました。</p>	49,600 0

県民の皆さまのご意見等を知事査定で予算案にとり入れた事業

(単位：千円)

項 目	担当部局	ご意見等(要旨)	知事からのコメント	予算計上額
女性農業者グループの支援	農林 水産部	<p>1 これまで水稻を中心に規模拡大を図ってきたが、体力的にも無理がきかず、園芸などに取り組んでいます。 その中で作物を自分たちで販売したり、加工にもチャレンジし、地産地消に取り組もうという意見も多くなっています。直売所や加工施設の設置やその運営について支援をお願いしたい。</p> <p>2 私達は女性農業者で農産物を栽培していますが、価格が安く自分たちで販売できると良いと考えています。農産物の直売所ができるような支援をお願いしたい。</p>	<p><b>いきいき女性・熟年農業者活動支援事業</b></p> <p>担当部からの要求は、女性および熟年農業者(60歳以上の農業者)のグループ化と簡易な生産加工施設や機器の整備に対して補助するものでしたが、県民の皆さまからのご意見や熟年農業者が多い(全農業者の82.1%、全国7位)という福井県の特性を踏まえて、試作品の製造やPR経費などのソフト事業に対しても、30万円を目安に1/2の補助を追加することとしました。約10件を見込んだため、予算額は150万円の増額となりました。</p>	<p>12,500 <del>11,000</del></p>

県民の皆さまのご意見等を知事査定で予算案にとり入れた事業

(単位：千円)

項 目	担当部局	ご意見等(要旨)	知事からのコメント	予算計上額
<p>「まちなかキッズルーム」 を100か所設置</p>	<p>福祉 環境部</p>	<p>1 電車などで出かけた場合に、駅のトイレなどにはオムツ替えができる場所がないので「キッズルーム」のような場所が多くできることを望みます。 また、子どもが寝てしまうこともあるので、1時間ほど仮眠できるようなゆとりある空間整備についても配慮していただきたい。</p>	<p><b>まちなかキッズルーム設置促進事業</b></p> <p>ご意見を受けまして、知事査定の中で「キッズルーム」では、授乳やおむつ交換だけでなく、休憩もでき、周囲に気兼ねせず利用できる空間とするよう、指示しました。 また、県内の設置状況についても確認しましたが、駅には整備されていないようであり、民間事業者はこの制度を積極的に活用してもらうため、制度のPRに力を入れるよう、担当部局に指示しました。</p>	<p>35,000</p>

県民の皆さまのご意見等を知事査定で予算案にとり入れた事業

(単位：千円)

項 目	担当部局	ご意見等(要旨)	知事からのコメント	予算計上額
高等学校教室の冷房施設の整備を促進	教育庁	1 冷房設備設置の父兄負担軽減のため 応分の助成をお願いしたい。	<p><b>県立高等学校冷房設備設置促進事業</b></p> <p>予算要求の段階から、できるだけ保護者の負担を少なくして、高等学校の冷房設備の整備を促進するよう検討を指示していました。</p> <p>知事査定では、ご意見を踏まえて、受変電設備や電気配線工事等の電源工事を県が行うという予算案とし、全国と比べても父兄の負担を低く抑えています。</p> <p>なお、15年度は7校で整備を行うことにしていますが、今後要望に基づき、他校にも拡大していくつもりです。</p>	84,085

県民の皆さまのご意見等を知事査定で予算案にとり入れた事業

(単位：千円)

項 目	担当部局	ご意見等(要旨)	知事からのコメント	予算計上額
がん検診の徹底	福祉 環境部	<p>1 親族にがん手術を受けた者が何人かあり、早期発見が何より大事と思い知らされています。専業主婦の私は市の検診を受けようと思っけていてもつい忘れがちになります。もっとお知らせを増やしたり、地域ぐるみの運動をお願いします。</p>	<p><b>元気長生きがん予防推進事業</b></p> <p>担当部から、県内のがん検診受診率が20%弱と低く、市町村により受診率はばらつきがあることが示されました。</p> <p>担当部局は、特に低い市町村で検診率アップのためのモデル事業を考えていました。しかし、がん検診自体は本来市町村の事務であることから、県はリーフレット作成や講演会への講師派遣等の意識啓発面での支援を行うこととし、検診率の向上については、市町村にその取組み強化を強く指導、要請するよう指示した結果、予算額が減少しました。</p> <p>また、事業所での検診率向上についても、併せて取り組むよう指示しました。</p>	<p>1,500 1,685</p>

県民の皆さまのご意見等を知事査定で予算案にとり入れた事業

(単位：千円)

項 目	担当部局	ご意見等(要旨)	知事からのコメント	予算計上額
フレンドリーバスの運行	県民生活部	<p>1 フレンドリーバスが無料になれば図書館等の利用に便利。バス代が高いとせっかくのフレンドリーバスも台なしになる。</p>	<p><b>フレンドリーバス試行事業</b></p> <p>担当部からは現行のバス路線を図書館まで延長し、バスの本数も増やす案が示されましたが、運賃は片道240円のままでした。</p> <p>ご意見を受けて、利用者の利便性を一層向上させる方法を検討し、福井駅から高志高校、羽水高校を経て生活学習館、図書館を巡回する無料の送迎バスを試行的に運行することにしました。</p> <p>また、バスルートについては、県民の皆様の声に応じて柔軟に対応するよう担当部に指示しました。</p> <p>なお、バスの運行は30分間隔と利用しやすさに配慮しました。併せて車椅子の方も安心して乗車できるバリアフリー仕様のバスを導入します。是非、ご利用ください。</p>	<p>42,410 27,579</p>

県民の皆さまのご意見等を知事査定で予算案にとり入れた事業

(単位：千円)

項 目	担当部局	ご意見等(要旨)	知事からのコメント	予算計上額
除雪体制の抜本的な改善	土木部	<p>1 歩道除雪の必要性を強く感じるのは小学生の登校時です。除雪計画策定会議には管轄区域内のPTA代表や区長会代表、校長会代表が加わることを提案する。</p> <p>教育の一環として小学校高学年児童、中学校生徒の除雪活動を行うことを提案します。奉仕活動の一貫として取り組むことができるのではないかと。</p>	<p><b>歩道除雪モデル事業</b></p> <p>担当部からは、交通弱者の降雪時の交通確保を目的に学校周辺でのモデル的な歩道除雪の実施について予算要求がありましたが、ご意見を受け、知事査定の場において、除雪だけでなく新設、改良、補修などを含めた歩道の整備に際しては、歩きやすい道、通りやすい道づくりを基本とすること、また、その施工に当たっては、地元中小企業者への発注や市町村との連携なども重要な事項として一体的に取り組むことを指示しました。</p> <p>また、事業名も県民の方に分かりやすく雪みち歩行空間確保モデル事業から「<b>歩道除雪モデル事業</b>」に見直しました。</p>	43,000

予算要求段階と最終予算案で内容、金額が変化した事業

(単位：千円)

項 目	担当部局	知 事 か ら の コ メ ン ト	予算計上額
学力向上	教育庁	<p><b>学力向上特別対策事業</b> <b>学力向上実践研究推進事業</b></p> <p>近年、小中学生の学力の低下が懸念されていることを踏まえ、担当部局からは、県内42校をモデル校に指定し、基礎を確実に身につけるため指導方法を実践研究し、その成果を来年度以降他校に普及させる事業の要求がありました。</p> <p>知事査定では、学力の低下は喫緊の課題であり、モデル校ではなく今すぐ県内の全小中学校において対応策を実施するよう指示しました。</p> <p>その結果、県で統一した弱点克服のための段階的ドリルを作成し、この10月から県内全小中学校で実施することになり、予算額も少なくなりました。</p>	<p>8,300 -23,000</p>
国際人の育成	教育庁	<p><b>英会話力向上事業</b></p> <p>国際人育成の一貫として、県内児童生徒の英語のコミュニケーション能力向上を図るため、担当部局から、県内中学高校の英語担当教員の資質向上を図るための研修を行う事業の要求がありました。</p> <p>知事査定では、教員の資質向上も大事だが、小学生の時期から、直接英語に親しみ、話す機会に慣れることが大事であることを指摘し、その結果、英語担当教員研修とは別に、県内の小中高校の中で、英会話能力の向上に取り組む意欲のある学校が、独自に実施する英会話セミナー等を支援することにし、今年度は、50校が取り組むこととしました。</p>	<p>5,000 2,300</p>

予算要求段階と最終予算案で内容、金額が変化した事業

(単位：千円)

項 目	担当部局	知 事 か ら の コ メ ン ト	予算計上額
低公害車の導入	福祉 環境部	<p><b>低公害車導入促進事業</b></p> <p>県内において既に幾つかの市が助成制度を導入していることや全国的に助成を行っている都道府県が少ないことから、知事査定では、県と市町村の役割分担について議論を行いました。その結果、低公害車の導入をさらに促進しつつ、県と市町村が連携できるように、市町村が補助を行う場合に、その1/2を県が助成することとしました。</p>	9,700
歴史的建造物の保存	土木部	<p><b>歴史の香る建造物保存・活用事業</b> <b>歴史的建造物保存・活用事業</b></p> <p>歴史的な建造物の保存は重要であることには異論はなかったが、補助率をどうするか、県と市町村との役割分担や、国の指定文化財に対する補助率等(1/2)を勘案し、1/3の補助率としました。</p> <p>また、より県民に親しみやすい名称に事業名を変更しました。</p>	12,825